







# 聖徳大学 大学院

児童学研究科 通信教育課程 / 博士前期課程 / 博士後期課程

アイコン表示内容:  科目終了試験予定  その他の予定

| 2013. 4 | SUN | MON | TUE | WED | THU   | FRI | SAT |
|---------|-----|-----|-----|-----|---|-----|-----|
| 3/31    | 1   | 2   | 3   | 4   | 5  入学式             | 6   |     |
| 7       | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  |     |
| 14      | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  |     |
| 21      | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  レポート締切 (6/30分) | 27  |     |
| 28      | 29  | 30  | 5/1 | 2   | 3   | 4   |     |

| 2013. 5  | SUN   | MON | TUE | WED | THU   | FRI | SAT |
|--|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|
| 4/28   | 29  | 30  | 1   | 2   | 3   | 4   |     |
| 5  | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  |     |
| 12  試験日 | 13  | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  |     |
| 19   | 20  受付開始 (6/30分) | 21  | 22  | 23  | 24  レポート締切 (7/28分) | 25  |     |
| 26   | 27  | 28  | 29  | 30  | 31  受付締切 (6/30分)   | 6/1 |     |

# お知らせ

## 大学院

### お知らせ

新入生連絡事項

修士論文

修了

## 閉講科目について

次の科目は2013年度開講いたしません。

- 「保育環境特論」
- 「児童・家族関係論演習」
- 「乳児保育特論」

## 長期履修学生制度について(出願時に願い出た方のみ)

本研究科では、博士前期課程(通信教育)において長期履修学生を認めています。これは、修業年限を超えて、一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを目的として規定しており、割安な学費が適用されます。

長期履修学生の履修期間は、3年(2.5年を含む)、4年(3.5年を含む)、5年(4.5年を含む)となっております。期間変更を1回のみ認めております。**(ただし、2年間での修了は不可です。)**期間変更の手続きについては、平成25年度「履修と研究の手引」をご覧ください、通信教育学務課にご連絡ください。

なお、長期履修学生については、**出願時に願い出た方のみ**が対象となります。入学後の申込みはできません。

## レポート課題について

2013年度レポート課題は、平成25年度「履修と研究の手引」に掲載されています(4月1日から2013年度のレポートを受け付けます)。

また、2012年度レポート課題については、4月26日(金)必着分まで有効とします。**4月1日~4月26日の間にレポートを提出する場合は、レポート課題が2012年度か2013年度かわかるようにレポート送付票の課題番号欄に年度を明記してください。**4月27日(土)着以降のレポートについては、2013年度レポート課題のみの受理となります。

## 送付物について

本学に提出物を送付する際は、封筒の裏面に必ず**学籍番号と氏名**を記入してください。

レポートを郵便にて提出する際にはレポート送付用封筒を使用し、表面に提出するレポートの**科目名**を記入してください。**1つの封筒に複数のレポートを同封して送付しても構いません。レポート送付用封筒は、レポートを送付する際にのみ使用してください。**

本学への提出物(レポート・各種申込書等)は、すべて下記住所へお送りください。

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学5号館2階  
聖徳大学大学院 通信教育部

## 川並弘昭記念図書館で借りた書籍の返却先について

書籍の返却先は下記住所へお送りください。

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550  
聖徳大学川並弘昭記念図書館

# 新 新入生連絡事項（博士前期課程）

## 重要 研究分野調査について

修士論文の指導教員を決定するにあたり平成25年度「履修と研究の手引」149ページ研究分野調査（様式2）を提出してください。

提出期限：2013年4月26日（金）17時30分必着

## 重要 科目・課程登録について

2013年4月入学生は、平成25年度「履修と研究の手引」147ページ科目・課程登録票（博士前期課程）〈様式1〉を提出してください（必ずコピーをとり大切に保管してください）。

提出期限：2013年4月26日（金）17時30分必着

平成25年度「履修と研究の手引」の履修内容と履修方法を熟読し、登録票太枠内の該当箇所に○印を付してください。登録科目数に上限はありません。

※「保育環境特論」、「児童・家族関係論演習」、「乳児保育特論」は、開講しておりませんので、登録することはできません。

## 科目終了試験の受験について

2013年4月入学生は、2013年6月30日（日）の科目終了試験から受験可能です。6月30日の試験を受験する場合は、4月26日（金）までにレポートを提出してください（必着）。

平成25年度「履修と研究の手引」1ページ〔平成25年度手続日程〕を参照してください。

レポート課題が2課題とも合格し、期間内に受験申込みをすれば、科目終了試験が受験できます。

※レポート課題が第1課題、または第2課題のいずれかしか合格しなかった場合は試験は受験できません。流れは本誌40ページ「レポート評価について」を参照ください。

## 科目履修の順序について

特に履修の順序は設けていませんが、修士論文構想発表会で発表するためには、あらかじめ修得しなければならない科目を定めています。「児童研究基礎論」と、各領域が指定する基礎科目の合計2科目です（下表参照）。これらの科目が2014年1月の科目終了試験までに合格していない場合、2014年3月に行う「修士論文構想発表会」の参加資格が得られず、修了が半年遅れますのでご注意ください。

| 領域    | 基礎科目             | 備考                                    |
|-------|------------------|---------------------------------------|
| 児童教育学 | 児童研究基礎論・児童教育学基礎論 | まずはこの2科目からレポートを書き始めて、単位を取るようになしてください。 |
| 児童発達学 | 児童研究基礎論・児童発達学基礎論 |                                       |
| 保育学   | 児童研究基礎論・保育原理特論   |                                       |

## 修了に必要な単位数

修了に際しては、

- ①「必修科目（児童研究基礎論、課題研究）」6単位
- ②「主領域」10単位以上
- ③「他の2領域」と「関連科目」から14単位以上

合計30単位以上の修得が必要です。

## 児童研究基礎論の課題選択方法

| 領域    | レポート第1課題 | レポート第2課題      | 科目終了試験                                      |
|-------|----------|---------------|---|
| 児童教育学 | 児童教育学    | 児童発達学または保育学   | 「主領域」1問と「レポート第2課題」で選択し、合格した領域1問の、計2問を受験します。 |
| 児童発達学 | 児童発達学    | 児童教育学または保育学   |   |
| 保育学   | 保育学      | 児童教育学または児童発達学 |   |

## 大学院

お知らせ

新入生連絡事項

修士論文

修了

重要 CHECK BOX

研究分野調査について

重要 CHECK BOX

科目・課程登録について

大学院

お知らせ□

新入生連絡事項■

修士論文□

修了□

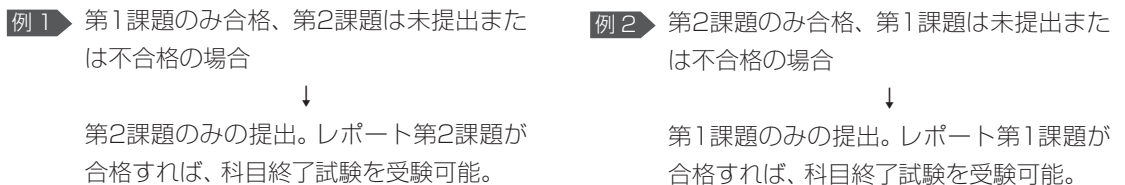
## レポートの提出方法

- レポートは手続きの場合、指定用紙を用い、筆記具はボールペンまたは万年筆を使用してください。(ただし手書きの指定がある科目以外はワープロ使用可。ワープロの場合は、A4版の任意の用紙を使用し、教員からの指示がない場合は40字×30行としてください。)
- レポートを提出する際は、**平成25年度「履修と研究の手引」巻末のレポート送付票を必ず課題ごとに添付し、左肩をホチキスどめしてください。**レポート送付票は、手引のものをコピーするか本学通信教育部ホームページからプリントアウトしてください。
- 1課題に対して2つのテーマが課せられている場合は、1つにまとめて提出してください。
- レポート送付票の「講評欄」は、教員記入欄です。無記入で送付してください。

## レポート評価について

レポート課題が2課題とも合格すれば、科目終了試験を受験できます。

※レポート課題が第1または第2のいずれかしか合格しなかった場合は以下のような流れになります。



## スクーリング科目について

スクーリング科目の単位修得方法は、以下の手順になります。

- ①スクーリング科目のレポート第1課題に合格する。
  - ②『聖徳通信』巻末に挿入されている「スクーリング申込書」で申込み、「受講許可証」の発行を受ける。
  - ③スクーリングを連続した2日間受講する。(2日間とも受講しないと、単位は修得できません。)
  - ④スクーリング期間中行う試験や、後日提出するレポートなどに合格する。
- ※スクーリング科目は、科目終了試験を受験する必要はありません。

## エリアスクーリング科目について

一部の科目について、本学サテライトキャンパス(東京都港区三田)においてエリアスクーリングを開講します。これは、松戸キャンパスで行われる通学課程の大学院の授業を、インターネットによるテレビ会議システムを利用してサテライトキャンパスで受講するものです。(1科目につき、毎週1コマ(90分)、計15コマの授業を受けていただきます。受講後、出席状況、レポートや授業内試験により評価が決まります。)

エリアスクーリング科目の単位修得方法は、以下の手順になります。

- ①別途郵送する「エリアスクーリング申込書」で申込み、毎週の授業を受ける。
  - ②全授業時間の3分の2以上に出席する。
  - ③エリアスクーリング最終日に行う試験や、後日提出するレポートなどに合格する。
- ※開講科目の詳細については決まり次第お知らせいたします。
- ※エリアスクーリングで履修する科目については、科目終了試験を受験する必要はありません。
- ※エリアスクーリングは三田のサテライトキャンパスで受講してください。松戸キャンパスでの受講はできません。

## 修士論文面接指導について

指導教員が決まりましたら、構想発表、中間発表、論文提出、口頭試問にむけて指導教員から多くの指導を受けて論文作成を進めてください。

指導教員の先生との面接指導日程を調整するためには、平成25年度「履修と研究の手引」153ページ**大学院 論文面接指導申込書**（様式4）を提出してください。希望日を複数記入し、通信教育学務課へ郵送、またはFAXしてください。後日、教員からの返信をお知らせいたします。**ただし、申込書を提出される際は、面接希望日から2週間以上の余裕をもって申し込んでください。**

## 質問票について

科目の内容、レポートについての質問、修士論文への質問がある場合は平成25年度「履修と研究の手引」151ページ**質問票**（様式3）に質問事項を記入の上、通信教育学務課へ郵送、またはFAXしてください。後日、教員から回答が届き次第、お知らせいたします。

## 専修免許状の取得について

幼稚園・小学校の一種免許状を取得されている方は、本学で課程登録を行い所定科目の単位を修得すると、修了時に専修免許状を取得できます。また3年以上の実務経験のある方は、在学中に専修免許状を自己申請にて取得することが可能です。

## 「実務経験による専修免許状の取得方法」について

幼稚園もしくは小学校教諭一種免許状を取得し、3年以上実務経験のある方は、各免許に関する科目を15単位以上を修得すれば、各都道府県の行う教育職員検定により専修免許状を取得できます（自己申請）。

## 『聖徳通信(大学院)』の発行予定

大学院の『聖徳通信』は、隔月ごとになります。

- ・ 4月号(3月末に送付)
- ・ 6月号(5月末に送付)
- ・ 8+9月号(7月末に送付)
- ・ 10月号(9月末に送付)
- ・ 12月号(11月末に送付)
- ・ 2月号(1月末に送付)

## 大学院

お知らせ

新入生連絡事項

修士論文

修了



## 修士論文の評価基準について

本学大学院 児童学研究科 博士前期課程では、以下の評価基準により、修士論文を評価します。

### 大学院

お知らせ

新入生連絡事項

修士論文

修了

### 大学院「課題研究」(修士論文) 評価基準

#### ● 評定基準

- S=称賛を持って承認される。査読のある学術雑誌(和文・英文)に投稿できる程度の内容を有する。
- A=承認される。書かれたものは条件に適合し、すべての重要な要素が含まれ、適切に書かれている。
- B=修正されるべき点がいくつかあるが少数であり、承認される。
- C=承認されるが、必須の部分が満足に書かれていない。
- D=修士論文の体をなしておらず、承認されない。

| 規準項目       | 達成度 | 評価指標  |
|------------|-----|---|
| 1. 研究の問い   | 5   | 研究の問いは質が高く且つ明確に述べられ、厳密な実証または文献研究ができており、すべての問いが答えられている。  |
|            | 4   | 研究の問いは明確に述べられ、実証または文献研究ができており、すべての問いが答えられている。           |
|            | 3   | 研究の問いは明確に述べられ、大部分が実証または文献研究ができ、大部分が答えられている。             |
|            | 2   | 研究の問いは述べられ、部分的に実証または文献研究がなされ部分的に答えられている。                |
|            | 1   | 研究の問いは明確に述べられていない。調査がなされておらず、問いに答えられていない。               |
| 2. 背景と正当化  | 5   | 十分な先行研究が参照され、明確に既存の研究の問題点を指摘でき、明らかに主題は正当化されている。         |
|            | 4   | 十分な先行研究が参照され、既存の研究の問題点を指摘でき、主題は正当化されている。                |
|            | 3   | 十分な先行研究が参照されているが、既存の研究の問題点の指摘及び主題の正当化には、不鮮明な箇所がある。      |
|            | 2   | 先行研究を集めることはよいが、その分析は機械的で列挙的である。既存の研究の問題点の指摘は不完全か不明瞭である。 |
|            | 1   | 先行研究が非常に少ない。その領域の理解が低い。既存の研究の問題点が指摘されていないか述べられていない。     |
| 3. 目的と目標   | 5   | 目的は、明確かつ簡潔に書かれている。目的は、目標に細分され詳述される。目標は、明確に目的と関連している。    |
|            | 4   | 目的は、明確に書かれている。目的は、目標に細分している。目標は、目的と関連している。              |
|            | 3   | 目的は書かれ、目標が細分している。しかし、目的と目標の関連に不明瞭な箇所がある。                |
|            | 2   | 目的は不明瞭である。目標の細分は十分ではない。それらはほんの一部が目的に関連している。             |
|            | 1   | 目的が、間違っているか明確ではない。目標が間違っているか、目的と関連がない。                  |
| 4. 研究方法、分析 | 5   | 使用される研究方法、分析の質が高く、研究目的に照らして的確である。                       |
|            | 4   | 使用される研究方法、分析が、研究目的に照らして的確である。                           |
|            | 3   | 使用される研究方法、分析が研究目的に照らしておおむね的確である。                        |
|            | 2   | 使用される研究方法、分析が研究目的に照らして一部不的確な箇所がある。                      |
|            | 1   | 使用される研究方法、分析が研究目的に照らして不的確である。                           |

| 規準項目  | 達成度 | 評価指標  |
|---|-----|---|
| 5. 論理性、科学性  | 5   | 章立てを含めた論述の流れが厳密であり、得られた成果及び考察の論理的解釈が明確で科学性が高い。          |
|   | 4   | 章立てを含めた論述の流れが適切であり、得られた成果及び考察の論理的解釈が明確で科学性が適切である。       |
|   | 3   | 論述の流れに一部不明瞭な箇所があり、得られた成果及び考察の論理的解釈や科学性が不明瞭な箇所がある。       |
|   | 2   | 論述の流れに不明瞭な箇所が多くあり、得られた成果及び考察の論理的解釈や科学性が部分的に不明瞭である。      |
|   | 1   | 論述の流れが、不明瞭であり、得られた結果の論理的解釈や結果の科学性が不明瞭である。               |
| 6. 獨創性、創造性、将来性  | 5   | 優れて創造的・獨創的であり、将来性ととも創造的な貢献をする可能性がある。                    |
|   | 4   | 創造的・獨創的な要素が数多くあり、将来性ととも創造的な貢献をする可能性がある。                 |
|   | 3   | 創造的・獨創的な要素がいくつかあり、創造的な貢献をする可能性がある。                      |
|   | 2   | 創造的な貢献をする可能性は少なく、創造的・獨創的要素は見られない。                       |
|   | 1   | 提案は平凡で、創造的な貢献はほとんどなく単純な研究結果を書いている。                      |
| 7. 言語と形式<br>綴り、段落<br>文法、文の構造、<br>フォーマット、<br>レイアウト、<br>文字数 | 5   | 洗練された文章で、記述において間違いが存在せず、要求された形式で正しく書かれている。              |
|   | 4   | 文章の記述において重要な間違いが存在せず、要求された形式で正しく書かれている。                 |
|   | 3   | 文章の記述において、いくつかの間違いがある。正しい形式で書かれているが、形式上の間違いがいくらかある。     |
|   | 2   | 文章の記述において、重要ないくつかの間違いがある。形式にいくつかの逸脱がある。                 |
|   | 1   | 文章記述に関する間違いは、重大で多くある。形式の多くの箇所が間違っている。                   |
| 8. 参考文献、引用文献、図、表  | 5   | 参考・引用文献の質は高く、適切に参照されている。適切で一貫した書式である。                   |
|   | 4   | 参考・引用文献は、適切に参照されているが、論文の数が十分でない。書式は適切である。               |
|   | 3   | 参考・引用文献は参照されているが、文献のいくつかのものを外れている。書式に適切ではない箇所がある。       |
|   | 2   | 参考・引用文献は参照されているが、全体的に質が低く重要な文献のものを外れている。書式は適切でない箇所が目立つ。 |
|   | 1   | 参考・引用文献は十分に参照されておらず、適切ではない。書式も適切ではない。                   |

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 研究倫理 | 聖徳大学倫理委員会に研究計画書を提出し審査を受け承認されている。 |
|------|----------------------------------|

● 評定基準と達成値(8項目の達成度の合計値)の関係

S=40~38(オール5もしくは、5が6つで4が2つまで)

A=37~30(5が5つで4が3つ、もしくは、4が6つで3が2つ)

B=29~22 C=21~17 D=16~8

● 修士論文の可否の評定規準は、17点以上を合格、16点以下を不合格とする。

大学院

お知らせ

新入生連絡事項

修士論文

修了

## 平成25年(2013年)9月修了予定学生へ

### 大学院

お知らせ

新入生連絡事項

修士論文

修了

### 重要 CHECK BOX

今後のスケジュール  
について

### 重要 今後のスケジュールについて

#### ●【修了予定届】、【修士論文正式決定題目届書】の提出

下記の要件を満たす学生は、平成25年度「履修と研究の手引」157ページ**修了予定届**〈様式6〉及び159ページ**修士論文正式決定題目届書**〈様式7〉を提出してください。

### 提出要件

- ①修士論文中間発表会で発表を行っていること。
- ②2013年5月の科目終了試験までに博士前期課程修了に必要な30単位のうち、14単位以上を修得、または修得見込みであること。  
※修了にあたっては、**「必修科目」6単位、「主領域」より10単位以上、「他の2領域」と「関連科目」より14単位以上、合計30単位以上を修得してください。**
- ③修士論文に関して、担当指導教員より十分な指導を受け、「正式決定題目」及び「目次」について了承を受けていること（論文提出までに、中間発表会で発表後、3回以上の指導を受けていることが要件です）。



## 提出期限

修了予定届(戸籍抄本を添付) **2013年5月17日(金)17時30分必着**

修士論文正式決定題目届書 **2013年5月17日(金)17時30分必着**

### ●修士論文題目の修正

題目修正を希望する場合、下記期日まで平成25年度「履修と研究の手引」161ページ**修士論文題目修正届書**(様式8)を受付けます。なお修正は1度のみです。

**提出期限：2013年6月14日(金)17時30分必着**

### ●修士論文にかかわる今後のスケジュール

#### ●修士論文の提出期限

◆ **論文提出(修士論文受理願を同封) … 2013年6月28日(金)17時30分必着**

◆ **論文要旨提出 …… 2013年7月5日(金)17時30分必着**

◆ **提出部数 …… 論文(資料含む) 3万字以上 3部**

**論文要旨 4,000字程度 30部**

※論文及び要旨は、必ずワープロで作成してください。A4版横書き・片面印刷とし、ともに1ページ40字×30行(1,200字)としてください。

詳細は平成25年度「履修と研究の手引」を参照してください。

※論文提出にあたっては、平成25年度「履修と研究の手引」163ページ**修士論文受理願**(様式9)を同封してください。

#### ●修士論文口頭試問・最終試験

**審査日程 2013年8月17日(土)**

審査時間 1人 25分(発表10分、質疑応答15分)

#### ●学位記授与式 2013年9月中旬～下旬予定

## 大学院

お知らせ

新入生連絡事項

修士論文

修了